

琵琶湖および県内河川で異常に繁殖している外来水生植物を県民、地元企業、大学生、ボランティア団体等との協働により駆除しました。

侵略的外来水生植物  
「オオバナミズキンバイ」

・・・非常に繁殖力が高く、生態系や行業に悪影響を及ぼす可能性があります。



随時	研修会・講習会等の実施
----	-------------



通年	外来水草駆除作業の支援、実施
----	----------------

草津市新浜ビオトープおよび同市志那浮船水質保全施設において、建設機械を用いた外来水生植物の駆除の実演を実施しました。



通年	広報・啓発の実施
----	----------

外来水生植物の特徴や対策について、一般の方々に普及啓発を行いました。

瀬田川において、地域団体主催の駆除作業と連携して効果的かつ効果的な駆除の実演を行いました。

NPO等が実施する駆除イベントに参加し、外来水生植物の現状と対策にかかる普及啓発を行いました。



外来水生植物の駆除作業の様子

琵琶湖の魚が田んぼへ遡上して産卵・繁殖できるように、水路に魚道を設置したりする「魚のゆりかご水田」をはじめ、田んぼのまわりの生きものの暮らしに配慮した「豊かな生きものを育む水田」の取組について広く普及啓発し、生態系保全にかかる取組の理解促進を図りました。

11～2月	「豊かな生きものを育む水田」 取組支援
琵琶湖周辺や中山間地における生態系の保全に寄与することを目的として、「豊かな生きものを育む水田」の取組をより一層広めるため、新たに活動に取り組む地域への支援を行いました。	



一筆型魚道

6～3月	ジオラマ作成業務委託
農村地域で取り組まれているこうした活動を県民に広く知っていただくため、ジオラマを作成するなど、琵琶湖やその周辺環境に優しい農業の取組への理解促進を図りました。  ジオラマは、野洲市野洲川歴史公園田園空間センターに設置しています。	



ジオラマ

# 学習船「うみのこ」親子体験航海・ 初代「うみのこ」引退セレモニー

寄附金活用額 1,095千円

県内外の親子を対象とした1日航海を実施しました。また、初代「うみのこ」の引退セレモニーを実施しました。

7月22日(土)	第1回親子体験航海 (大津港～沖島水道～大津港)
8月26日(土)	第2回親子体験航海 (大津港～沖島水道～大津港)
<p>県内外の親子を対象として、「湖の子」体験学習や琵琶湖上での展望活動を通じて、県内外の親子が交流することを目的に、1日航海を実施しました。</p> <p>びわ湖クイズ、プランクトンウォッチングなどの「びわ湖学習」や白石、沖島の展望活動が行われました。 滋賀県110名、県外108名の参加がありました。</p>	

3月11日(日)	初代「うみのこ」引退セレモニー (大津港および大津港停泊中の学習船「うみのこ」船内)
<p>午前は来場者すべてを対象とした「お別れ見学会」を実施し、1,927名の参加がありました。</p> <p>午後は一般公募47名の参加による「引退セレモニー」を実施しました。</p>	



初代 学習船「うみのこ」



引退セレモニー



県民参加型の交流会を開催し、交流体験やはしかけ・フィールドレポーター等の活動を発信します。また、第2期リニューアルでオープンする展示室や交流空間での交流活動や、県内の中高生等によるアトリウムコンサートを通じて、琵琶湖博物館の魅力をさらに発信しました。

6月	エリ漁ツアー
7月	びわ博フェス2017
10月～12月	アトリウムコンサート
<p>県民、企業、若い世代（中学、高校生など）団体等との連携により交流会を開催し、琵琶湖博物館のリニューアルをはじめ、博物館活動を広く発信することで多くの方に参加いただくことができました。</p>	



エリ漁ツアー



アトリウムコンサート



びわ博フェス2017

琵琶湖を健全な姿で次世代に引き継いでいくために、「びわ湖の日」3本柱（「琵琶湖をきれいにしよう」「豊かな琵琶湖を取り戻そう」「琵琶湖にもっと関わろう」）をさらに充実させ、今まで以上に「びわ湖の日」を広め、琵琶湖のブランド価値の向上を目指しました。

7月	ポスター掲示
随時	イベント時に クリアファイル配布
<p>「びわ湖の日」を啓発するポスターおよびクリアファイルのデザインを成安造形大学に依頼し、学内のコンペ形式でデザインを選定する方式を採用しました。</p> <p>コンペに向けて、学生が琵琶湖についての学習を深め、琵琶湖の様々な価値や魅力を認識いただきました。</p> <p>完成したポスターは、県内の商業施設等に掲示して、県民の皆さまに「びわ湖の日」の周知を行うことができました。（ポスター1000枚作成、クリアファイル700枚作成）</p>	



学内プレゼンテーションの様子



平成29年度「びわ湖の日」啓発ポスター



皆様からいただいた寄附の内 1,290千円を活用させていただき、琵琶湖の在来魚を増やすために行っている増殖事業や外来魚駆除などの取り組みについての理解を深めていただくため、以下の催しを開催しました。

5月20日(土)	水田放流学習会 (ホンモロコ、ニゴロブナ、ゲンゴロウブナ)
6月10日(土)	
近江八幡市安土町の水田にホンモロコ、ニゴロブナ、ゲンゴロウブナの仔魚を放流し、水田への放流のメリットを学びました。	
ホンモロコ、ニゴロブナ、ゲンゴロウブナの稚魚が、水田の中干し時に水田から泳ぎ出る様子を観察し、水田への放流の有効性を確認しました。	



水田放流学習

6月18日(日)	外来魚学習会
守山市の赤野井湾において漁業者が外来魚を駆除の様子を見学するとともに、外来魚の解剖を行い、外来魚が琵琶湖の生態系に与える影響について学びました。	



外来魚学習

9月24日(日)	アユ産卵用人工河川見学会
高島市安曇川町にあるアユ産卵用の人工河川を見学し、琵琶湖漁業にとって非常に重要なアユ資源を安定的に維持する取り組みについて学びました。	



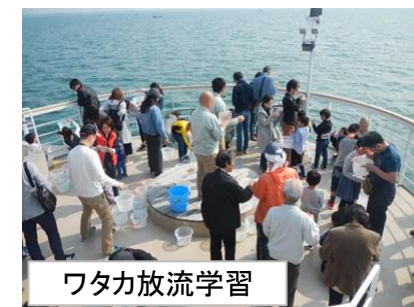
アユ産卵用人工河川見学

3月4日(日)	ビワマス稚魚放流学習会
高島市マキノ町の知内川でビワマスの稚魚を放流し、ビワマス増殖事業の重要性を学びました。	



ビワマス稚魚放流学習会

3月25日(日)	ワタカ放流学習会
環境学習船「megumi」に乗り、水草を食べる魚「ワタカ」を琵琶湖南湖に放流し、琵琶湖南湖で大量繁茂している水草の問題点などについて学びました。	



ワタカ放流学習

琵琶湖の姿を幅広く紹介した「琵琶湖ハンドブック」を改訂し、県内外の方に広く琵琶湖の価値・保全再生の必要性を発信しました。

また、小中学生も含めた幅広い年齢層を対象とした一般基礎教材として、琵琶湖ハンドブックの概要版を作成しました。

5月	琵琶湖ハンドブック改訂検討チームの設置および会議（第1回）の開催
6～12月	原稿執筆・レイアウト調整
11～12月	琵琶湖ハンドブック改訂検討チームの会議（第2・3回）の開催
3月	琵琶湖ハンドブック本編および概要版の発行

琵琶湖の姿を幅広くわかりやすく紹介した「琵琶湖ハンドブック三訂版」を2,500部発行しました。

また、琵琶湖ハンドブック三訂版の概要版として「びわ湖を学ぼう」を15,000部発行しました。

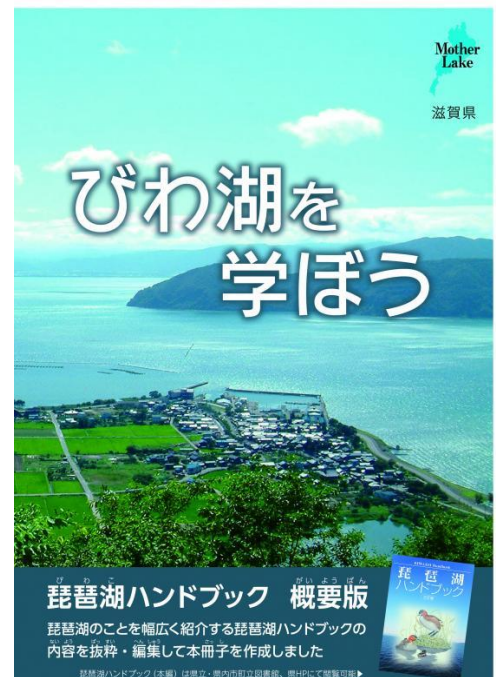
「琵琶湖ハンドブック三訂版」および「びわ湖を学ぼう」は環境学習の指導者や環境保全団体等、環境保全に関する普及に努めていただいている方に配布しました。

県内の学校や県立・市町立図書館等でご覧いただくことができ、滋賀県ホームページに掲載もしています。また、琵琶湖博物館環境学習センターでは貸出対応もしています。

「琵琶湖ハンドブック三訂版」は環境保全活動団体や研究者の参考資料として、「びわ湖を学ぼう」は学校や団体が実施する環境学習の授業資料として県内外で広く活用されています。



琵琶湖ハンドブック(三訂版)  
(平成30年3月発行 256ページ)  
表紙イラスト:今森 洋輔 氏



びわ湖を学ぼう(平成30年3月発行 20ページ)

歴史的文化的  
資産

## 安土城考古博物館 所蔵品再生展示

寄附金活用額 5,100千円

近江の豊かな文化財を修理再生して未来へ継承するとともに、一般に公開いたします。  
修理再生の成果や修理技術などについて、パネル展示とパンフレットの配布でお知らせするとともに、説明会の開催を予定しています。

5～12月	修理再生
安土城考古博物館で所蔵されている貴重な文化財のうち、損傷が著しい作品を修理再生します。 黒田長山古墳群は長浜市木之本町の丘陵にあり、最も大きな4号墳からは鉄の鎧である「短甲」が出土しました。当時ヤマト政権が朝鮮半島から輸入された貴重な鉄を用いて制作し、湖北の王に与えた歴史を物語る優れた資料ですがサビや亀裂、穴あきなどが著しいため、修理再生します。	

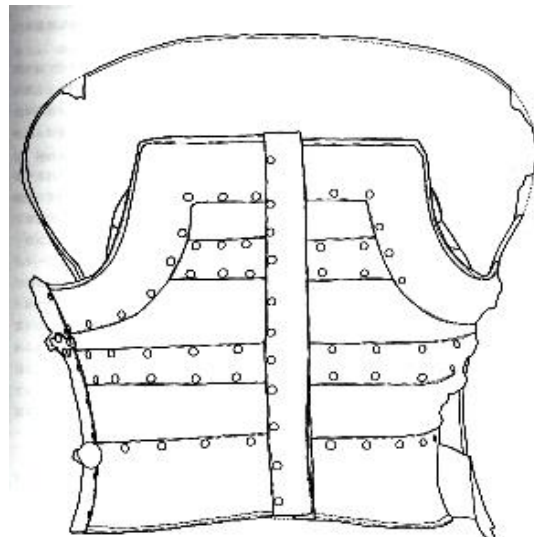
2～3月	展示公開・修理再生にかかるパネル展示とパンフレットの配布
展示公開にあわせて修理再生過程を説明したパネル展示とパンフレットの配布を実施し、講演会等を開催することによって、修理の成果や文化財の魅力について発信します。 修理再生講演会の開催も予定しております。	

問合せ先	滋賀県立安土城考古博物館 0748-46-2424
------	---------------------------

<修復公開予定の文化財>  
黒田長山古墳群出土品 短甲 1領



修理前状況写



資料の実測図



「世界農業遺産」認定に向けて、琵琶湖と共生してきた滋賀の農林水産業の魅力や農山漁村での営みなどを広くPRするため、県民の皆様を対象に、啓発イベントや魅力発信ツアーなど、情報発信を行いました。

第1回 6月5日(月) 第2回 9月7日(木) 第3回 11月25日(土)	魅力発信 モニターツアー開催 (3回)
第1回 近江八幡市沖島・東近江市栗見出在家 第2回 野洲市須原・大篠原 第3回 米原市曲谷・甲津原	参加者 39名 " 30名 " 32名

参加者の皆さんには、県内の農林水産業の歴史に触れるとともに、魅力などを体感していただきました。



沖島の漁師さんからの「伝統的な琵琶湖漁業」についてのお話や県内の大学生からの「沖島移住」についてのお話に熱心に耳を傾ける参加者の皆様

野洲市須原の「魚のゆりかご水田」の魚道を見学する参加者の皆様



10月18日(水) ~10月20日(金)	びわ湖環境ビジネスメッセ出展 (3日間 来場者数 34,270人)
-------------------------	--------------------------------------

ブース出展  
ジオラマ展示・映像放映・パネル展示・アンケートクイズなどを実施しました。  
世界農業遺産の認知度向上や企業との連携を図りました。



随時	「世界農業遺産」についての 出前講座 (滋賀大学など)
----	--------------------------------

未来を担う県内の大学生等を対象に出前講座を実施しました。



通年	大規模量販店等での啓発・広報の実施
----	-------------------

大型スーパーでのステージ発表等実施しました。

